

令和6年度事業報告

令和7年6月
介護老人福祉施設 亀保の里

亀保の里の運営方針である「利用者本位の施設作り～亀保の里で余生を送れて良かった～」を目指し、利用者・利用者家族が安心して利用できるよう利用者処遇及び、施設と地域との交流を推進してきた。令和6年4月の介護報酬改定では、前回改正のあった各種の基準等の経過措置期間の満了に伴い、対応が必要となった。超高齢化社会を迎え、次の2040年(少子化が進み、第2次ベビーブーム期の子ども達が64歳以上になる)も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を図ることとされている。

- ① 「地域包括ケアシステムの推進」・・・住み慣れた地域において、利用者の尊厳を保持しつつ、必要なサービスが切れ目なく提供されるよう取組を推進
- ② 「自立支援・重度化防止の取組の推進」・・・制度の目的に沿って、質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供を推進
- ③ 「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」・・・重要な課題として、介護人材の確保・介護現場の革新に対応
- ④ 「制度の安定性・持続可能性の確保」・・・必要なサービスは確保しつつ、適正化・重点化を図る

この4つの柱を基本的な視点として、ますます重度化される高齢化社会に対し、ニーズに対応できる施設体制を整備(生産性向上の為にITの導入)するだけでなく、積極的に新規未経験職員の育成に努め、質の向上を図ることを最大の目標とした。新型コロナウイルスや新興感染症等による制限の緩和に向けて、今までの感染症対策を見直しながら対応を検討していかなければならない。

〔利用者処遇〕

日常生活においては季節ごとのいろいろな行事も感染対策を行いつつながら実施し、出来る限り昼間の活動を増やすようにした。ゆっくりと(職員と利用者が寄り添い合って)過ごせる為に日常生活の支援に力を注いだ。そのため各階での特長を生かした催しや、時間の過ごし方などが増えた。衛生面では清潔を保持する為に入浴については各階で行えるようになりゆっくりと入浴が行えるようになった(週4回月、木は個浴・リフト浴。火、金は特殊浴)実施。また、体調不良等で入浴出来ない方については看護職員と連携を図りながら清拭、更衣を行った。シーツ交換(週1回)・室内清掃はその都度出来るだけ行った。

利用者の重度化に伴い、医療を必要とする利用者も増えた。その為看護職員への24時間連絡体制の整備。喀痰吸引においても介護職員で対応できるように特定行為従事者研修を重ね、夜間帯においても対応できるようにした。

感染流行時期においては、面会制限や外部感染(面会者等)しないよう、予防の観点から各所の殺菌器の設置や入館時の手指の消毒依頼を行った。利用者の口腔ケア・職員の手洗い等も徹底した。その他各種流行性の感染症に対しても看護職員が中心となり都度対策を図った。

施設内の感染状況に応じて面会制限を行った。面会日(水・土・日14:00～16:00)の10分間予約制)には常時ビデオ通話も可能とした。

高齢者虐待の対応については身体拘束廃止委員会の際に参加者でWEBセミナーや資料を閲覧す

るようにした。

口腔ケアは食後2回実施するように徹底し、歯科医療機関との連携により月2回は歯科衛生士による専門的な口腔ケアを行い、口腔衛生管理の徹底を図ることで誤嚥性肺炎の予防に努めた。

医療面では入所時に出来る限り多くの情報収集に努め、日常の状態観察、医療機関との連携を行う。可能な限り予防接種は接種するように努める。結核予防法による胸写検査(年1回)を実施し、異常の早期発見に努めた。

施設内で褥瘡を作らないために、また早期治療に取り組む為のマニュアルを策定する。対策担当者を中心に年2回の委員会を開催し各職種が協働で対応を行い、その他医療機関との連携を図りながら対応した。

重度化への対応としてターミナルケアを遂行し、慣れた環境の中で、利用者・家族・職員に見守られながら終焉を迎えられるよう医療機関との連携を図りながら最善を努めた。

利用者の医療必要度が重度化の為、医療機関との連携を図りながら高度医療(胃ろう、経管栄養)の導入に対応できるよう外部研修にも積極的に参加し専門的知識を習得し、対応できるような体制を整えた。また今後は末期がんや透析患者の受け入れニーズにも対応していく必要がある。

機能訓練指導員及びリハビリ係を中心に機能訓練を利用者ごとの個別機能訓練実施計画書に基づき実施。天気の良い日は気分転換を兼ねて日光浴を都度行った。

・入院延べ日数 1059日入院日を含める。(比較:令和5年度 662日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院日数	37	67	94	98	161	171	79	98	49	52	83	70

・入院件数 48件(入院者29名) ・退院件数30件 ・退所件数14件 ・転院件数4件

[各サービス専門委員会報告]詳細については別紙実施報告書による
入浴専門委員会…ゆっくりと安全に入浴していただくための取り組み。

- ・入浴時の安全な介助方法については各フロアで指導していく。
- ・各利用者の身体状況に合わせた入浴方法の定期的な検討(個浴、リフト浴、特殊浴)
- ・リフト浴及び特殊浴槽の設備点検を行い、安心して入浴してもらう。
- ・入浴介助者の熱中症対策や身体的負担軽減の為、担当表を作成する。
- ・剥離のリスクの高い利用者に対する介護方法の徹底。

食事専門委員会…食事環境の整備及び口腔内の清潔に努め、自具等の検討。

- ・各職種が連携し、各利用者の栄養状態の把握及び経口摂取の継続に向けての情報収集(給食会議の参加)

- ・安全で楽しく食事をとっていただく為の勉強会や栄養補助食品のサンプリング
- ・行食食については見た目などにも食欲が感じられるよう努める。
- ・口腔ケアの更なる改善(月2回の全入所者へ歯科衛生士の専門的な口腔ケアの実施や指導)
- ・嚥下訓練(リズム体操)を改良し、あいうべ体操を組み込み、昼・夕食の1日2回実施を徹底。

排泄専門委員会…各利用者の排泄状況の把握、個々に合った排泄方法の検討

- ・各入所者の排泄サイクルを確認し、個人別排泄物品の検討を行い、紙おむつメーカーとの意見交換を行い、より快適に過ごせるよう努めていく。
- ・プライバシー保護の観点からも排泄臭の配慮を行っていく。
- ・「排便ケアについて」排便記録を量だけでなく形状についても記載(ブリストル便性状スケール)
- ・嘔吐、下痢の感染拡大を防ぐための処理方法の徹底について

移動移乗専門委員会…移動移乗の際の介護事故の防止及び技術・サービスの向上

- ・新人介護職員移乗介助研修会の開催

- ・各利用者に合った移動物品の選択
- ・移動物品の定期的点検及び修理。
- ・身体拘束廃止に向けた取り組み（赤外線センサー、センサーマットの管理）

環境整備専門委員会…快適・安全に生活を送れるよう徹底する

- ・施設内の共用部(ゴミ置き場、ペラнда、ピロティ等)の定期的な清掃
- ・施設周辺でも季節感を感じられるように玄関花壇の管理・屋外バルコニーの管理
- ・天災後の施設物品の故障箇所等の点検、報告
- ・新型コロナウイルス等の感染予防の対策の周知(消毒や予防策)

[リスクマネジメント]

日常生活において危険(職員がヒヤリしたりハツとしたり)に遭遇した際、ヒヤリハット報告書を提出してもらい、対応策を検討することで大きな事故を未然に防いでいくように努めた。また結果を集計し、発生しやすい時間・場所・利用者等の特定をすることで、ハイリスク者として出来る限りの対応を行った。転倒転落が多いが、重度の骨粗鬆症の利用者もいるので油断しないように周辺環境の整備を行いながら見守りの強化に努めた。表皮剥離も多く、後発部位の保護や介助方法の検討にも努めた。職員への意識改革を行い、ヒヤリハットの事項を各部署で回覧等を行い、多くの職員に伝達するよう努めた。今年度は報告が必要な事故が3件発生し、転倒による骨折が3件で報告した。予測できるリスクにおいては対策会議を行い、必要な研修会を開催し再発防止に努めた。今後も認知症高齢者の増加や予期せぬ事態も考えられるため、センサー付きベッドを16台を導入し、早期の行動が分かるように常時見守りができにくい時間帯はセンサーマット、赤外線センサーを併用し安全対策を行う。また、搜索マニュアルも制定し、行方不明事故などにも対応できるように認知症ケアの更なる強化を図った。

(ヒヤリハット報告書提出件数 令和6年度:139件 比較 令和5年度:157件)

(事故報告書件数 令和6年度:3件 比較 令和5年度:4件)

[安全対策]

予測のできない天災(大雨や地震等)にも目を向け、定期的に防災訓練・緊急通報訓練(防災訓練については別紙防災担当係実施報告書による)を行い、職員はもちろんのこと利用者の方々も一緒になって緊急時の対応を周知し、昼夜に限らず利用者が安心して日常生活を送っていただけるよう万全の体制を備えるよう努め、安全管理については最善を尽くした。施設において最新の防災設備の使用方法を習得しておくと共に、施設設備や器材の点検を防災担当係及び環境整備専門委員会が中心となり随時行っている。今後は地域住民をふまえた防災訓練の実施が義務化されており、行政機関と連携を図りながら対応していく必要があり、また備蓄の有効活用も検討していく。

[苦情処理]

施設宛に送られた今年度苦情受付件数は0件。

報告の必要な苦情はありませんでしたが、家族と職員間の些細な行き違い等の話があり、信頼関係の構築に向けて多職種で連携し対応していく。特にコロナ禍の面会制限等があり、閉鎖的な印象を受けやすい為、ご家族とのコミュニケーションを密に図り、利用者の状態報告を行いながらご家族とも信頼関係を築くように努めた。行政機関等の苦情窓口も紹介しており、全職員が一丸となって、苦情を真摯に対応していくことでより良いサービスの向上に努める。

[生活部門]

行事計画に基づき、次の通り実施しました。

月	行事	実施状況	参加数
4	創立記念祭	29日、創立46周年記念式典、役員等の来賓をお呼びし、入所者と職員のみで実施。	65名
	誕生日会 移動美容室 聞法会 散髪 ポーラ化粧品の日 桜花見バスハイク	29日、該当者2名 24日、移動美容室トミーズスター 25日、正円寺 16日、23日、おしゃれ床屋いのうえ 20日、ポーラ化粧品美来 6日、7日、中津方面	65名 18名 30名 53名 10名 11名
5	誕生日会 黒土神幸祭 薬師寺みこし ポーラ化粧品の日 ふるさと訪問ツアー	15日、該当者1名 カラオケ教室開催 3日、鬼木公民館にて 11日、 25日、 19日、26日、豊前方面	50名 4名 50名 10名 7名
	誕生日会 聞法会 移動美容室 散髪 ポーラ化粧品の日 園内ジョッピンング 園内ジョッピンング アジサイバスハイク ふるさと訪問ツアー	12日、該当者6名 カラオケ教室職員による 27日、選佛寺 30日 10日、11日 17日、 23日、地域交流室にて豊福商事来園 19日、地域交流室にて南商店来園 8日、枝川内 8日、今市	50名 35名 16名 47名 10名 30名 30名 6名 1名
7	ポーラ化粧品の日 ヒタカラオケ大会 誕生日会 ふるさと訪問	27日、 6日、デイサービス利用者と合同カラオケ大会 6日、該当者8名 カラオケ大会 25日、田川	10名 50名 50名 1名
	物故者法要 誕生日会(夏祭り) 移動美容室 散髪	8日、物故者の初盆会を行う。(外部参加なし) 21日、該当者6名 夏祭り兼ねるが コロナ陽性者あり、中止 7日、 12日、13日	60名 0名 15名 27名
9	敬者の日祝賀会	14日、役員を来賓としお呼びし、入所者と職員のみで実施	65名
	誕生日会 ポーラ化粧品の日 彼岸花バスハイク	14日、該当者6名 21日 29日、求菩提方面	65名 10名 6名
10	誕生日会 聞法会 ポーラ化粧品の日 彼岸花バスハイク コスモスバスハイク 利用者レントゲン 移動美容室	16日、該当者12名 カラオケ教室 24日、光林寺 19日、 12日、求菩提方面 27日、三光コスモス園 28日、29日、30日、31日 30日	60名 50名 10名 6名 5名 80名 15名

11	誕生日会 和楽の夕べ ポーラ化粧の日 園内ショッピング 菊花展バスハイク そば打ち見物 亀輪ピック	27日、該当者4名 カラオケ教室と兼ねる 2日、地域交流室にてプロの演奏家による音楽祭 23日、 17日、地域交流室にて豊福商事来園 9日、薦神社 14日、施設長・居宅ケアマネによる 29日、耶馬溪方面	60名 5名 10名 29名 5名 35名 55名
12	紅葉バスハイク 散髪 クリスマス会(忘年会) 誕生日会 餅つき(正月準備) 移動美容室	4日、耶馬溪方面 9日、11日 25日、誕生日会と兼ねる 25日、該当者8名 28日、地域交流室で餅を食べる 23日、	6名 57名 60名 60名 50名 15名
1	正月祝い 書き初め ポーラ化粧の日 かるた・福笑い大会 誕生日会	1日、2日、3日、おせち料理 13日、硬筆クラブ員ほか 25日 1日、 22日、該当者15名	80名 40名 10名 40名 50名
2	節分室内ゲーム大会 誕生日会 散髪 移動美容室 利用者レントゲン 聞法会	8日、地域交流室にてゲーム大会誕生日会と兼ねる 8日、該当者8名 10日、18日、 5日、 26日、再検査 27日、浄福寺	50名 50名 54名 13名 5名 50名
3	誕生日会 ひなまつりお楽しみ会 松本アキ子氏満101歳祝い 桜茶会 (河津桜)花見バスハイク	29日、該当者9名 桜茶会 5日、 6日、3Fフロアにて 23日、地域交流室にて 22日、23日、松江、友枝川農村公園	60名 60名 45名 20名 11名

全体での行事計画に関しては担当者を決め、会議を開いた後、行実施計画書を作成し、各部署に配布するように徹底した。新型コロナウイルスの流行により例年実施している行事は規模を縮小したりしながら、季節感を与えられるよう、そしてできるだけ新しい内容を試み、利用者の表情等の観察を密にすることで次年度につながるよう努めた。100歳以上の利用者は本人の誕生日にみんなでお祝いを実施した。3密になる状態を作らないためにも、天候と体調により芝生グラウンドや近隣地域へ車椅子で少人数の散歩も試みた。

おしゃれをして、いつまでも美しく笑っていただきたい為、感染対策を行いながら、理容美容だけでなく積極的にボランティアを受け入れ、ポーラ化粧品美来より月1回は化粧をし、笑顔の写真を残した。この他に毎月恒例の法要の日(25日)、隔週土曜日の喫茶の日やカラオケ教室、音楽リハビリは感染状況を把握しながら実施し、毎月行われるお誕生日会でも外部も舞踊団等の来園が出来ないため、担当職員が中心となり、職員と入所者でお誕生日会を開催した。クラブ活動においては音楽クラブ、吟詠クラブ、音楽リハビリ、書写クラブを各クラブ担当により月1回実施(別紙クラブ活動実施報告書参照。)

「職員施設外研修」

参加者	研修月日	場所	研修内容
施設長	R6. 6. 11	福岡市	県老協総会
	R6. 6. 17	東京都	全老協総会
	R6. 8. 9	田川市	筑豊地区老施協総会
	R6. 10. 22	大分市	介護人材の資格変更等更新手続き説明会
	R7. 2. 20～R7. 2. 21	大分市	九社連施設長研修会
	R7. 3. 10	福岡市	第2回県老協総会
生活相談員	R6. 10. 31～R6. 11. 1	宮崎市	九州老人福祉施設職員研究大会

徐々に外部研修が感染対策を行いながら開催されるようになりました。オンライン研修等の開催も増えてきており、新しい機会を得る良いチャンスであるため、積極的に多くの職員に参加を促すようにした。また、新型コロナウイルス対策として多くの企業が動画配信やWEBセミナー等を開催している為、それを活用して施設内研修(法定研修)も開催した。

「職員施設内研修」

令和6年度の施設内研修としては、12回実施。

- ・5月30日 ハラスメント研修会「介護現場におけるハラスメントに関する職員研修」地域交流室にてWEBセミナー
- ・6月28日 褥瘡対策研修「褥瘡・スキンケア管理のコツ」地域交流室にてWEBセミナー
- ・8月29日 虐待防止研修「不眠時の対応、車いすでの過ごし方」地域交流室にてグループ討議
- ・8月29日 身体拘束研修「身体拘束ゼロ作戦～やってみてみる～」地域交流室にてWEBセミナーおよびグループ討議
- ・10月25日 リスクマネジメント研修「誤嚥死亡事故の刑事訴訟について」グループ討議
- ・11月6日 移動移乗ケア・排泄ケアの介護実技研修会地域交流室にて各専門委員による実技講習
- ・11月14日 感染症対策研修会「京築管内の医療機関の感染対策」地域交流室にてWEBセミナー
- ・11月21日 身体拘束研修「身体拘束の基本」地域交流室にてWEBセミナーおよびグループ討議
- ・11月28日 ターミナルケア勉強会「ピア～まちをつなぐもの～」WEBセミナー
- ・2月21日 ターミナルケア勉強会「明日香に生きる」WEBセミナー
- ・2月28日 褥瘡対策研修「創傷治療の基本と褥瘡管理」地域交流室にてアルケアWEBセミナー
- ・3月13日 虐待防止研修「介護現場におけるハラスメント対策」地域交流室にてWEBセミナーおよびグループ討議

「職員施設内会議」

- 主任・ケア会議 12回 毎月20日頃実施。
- 給食会議 12回 毎月25日頃実施。
- 入所検討委員会 2回 (4月26日、10月11日)
- リスクマネジメント委員会(虐待防止委員会と兼ねる) 2回 (4月12日、10月25日)
- 身体拘束廃止委員会 4回 (5月30日、8月29日、11月21日、3月13日)
- 生産性向上推進委員会 4回 (5月15日、8月7日、12月6日、12月17日)
- 褥瘡委員会 2回 (6月28日、2月28日)
- 物故者法要・夏祭り実行委員会 0回 (規模縮小の為主任会議にて)
- きぼうの里秋のつどい実行委員会 0回 (規模縮小の為主任会議にて)

※この他に行事前に行事関係会議を都度開催しました。

「実習生の受け入れ」(団体別)

施設を開放し、下記の通り地域中学生の体験学習を幅広く受け入れ、福祉に対する関心を持っていただくことで地域福祉の向上に努めた。新型コロナウイルス感染症対策として体験学習事業の全ては中止。また、教員免許所得の為に介護等体験における大学生は1件。

・北九州市立大学 2年 峯野真菜海 令和6年9月2日(月)～9月6日(金) 5日間

[特別養護老人ホーム実施状況]

定員80名における居室利用率 95.50% (前年度98.00%)

延べ利用実績

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無保険	利用合計
4月	0	60	549	1026	625	30	2320
5月	31	62	558	1095	641	31	2418
6月	30	60	510	1080	582	30	2292
7月	31	31	506	1135	611	31	2345
8月	31	31	446	1139	641	31	2319
9月	30	30	416	1171	541	30	2218
10月	31	31	450	1222	606	30	2370
11月	30	30	422	1238	546	30	2296
12月	31	31	372	1308	635	31	2408
1月	31	31	372	1320	636	31	2475
2月	28	28	336	1153	572	28	2145
3月	31	31	372	1293	651	31	2409
小計	365	456	5309	14180	7287	364	27961

※入院・外泊加算 194日/年、初期加算 893日/年、療養食加算 6982食/年、

※看取り介護加算(1) 106日/年、看取り介護加算(2) 221日/年

看取り介護加算(3) 18日/年、看取り介護加算(4) 9日/年

※配置医師緊急時対応加算(早朝・夜間) 5回/年、配置医師緊急時対応加算(深夜) 2回/年

配置医師緊急時対応加算(勤務外) 5回/年

※口腔衛生管理加算(I・II) 855日/年、

※食費 27226日/年、居住費 27791日/年

※安全対策体制加算 25日/年、個別機能訓練加算(1) 26837日/年

※個別機能訓練加算(2) 908日/年

入退所状況 入所者80名(特例入所0名含む)

保険者	入所人数
豊前市	20
太宰府市	1
上毛町	1
築上町	1

保険者	退所人数
豊前市	15
吉富町	2
築上町	1
中津市	3

中津市	1	上毛町	2
		北九州市	1
計	24	計	24

退 所 理 由	人 数	前年度人 数
ホームにて死亡	10	12
入院先医療機関で死亡	6	3
入院中回復の見込みがない為退所	8	5
病状が安定し、在宅復帰が可能であった為退所	0	0
他の施設等への転院・転所	0	0

保険者別状況 (人) 令和7年6月1日時点

豊前市	中津市	豊後高田市	築上町	吉富町	北九州市
69	4	1	1	4	1

・男性19名 女性61名

年齢別状況 (人) (比較:令和6年6月1日 平均年齢 87.2歳(男性83.3歳 女性88.5歳)

100歳以上	90歳～99歳	80歳～89歳	79歳～70歳	69歳～60歳	60歳未満
1	40	23	15	1	0

・平均年齢 87.0歳(男性82.3歳 女性88.5歳)

介護度別状況 (人) (比較:令和6年6月1日 平均要介護度 3.87

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1	1	15	44	19

・平均要介護度 3.87

入所待機者状況 (人) 28名(内特例入所待機予定者2名) 令和6年4月1日現在
(比較:令和5年4月1日現在24名 内特列入所待機予定者2名)

豊前市	中津市	上毛町	吉富町	太宰府市	
20	0	5	2	1	
申請中	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2	1	1	8	7	11

・待機者平均介護度 4.0 (比較:令和6年4月1日 4.0)

[併設短期入所生活介護(介護予防)]

定員10名 従来型個室

短期入所生活介護事業所では可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援する事と、その家族の負担を軽減させることを最大の目的としている。新型コロナウイルス感染症対策として利用時の体調確認及び抗原検査を徹底して実施。地域の感染状況の把握に努め、受け入れを制限することもあるが、徐々に通常の短期入所の利用ができるように対応した。新規利用者の居宅介護支援事業所との連携において少しでも在宅で過ごされることを推進した。その為、確実に施設と在宅とのつなぎを行うため、今まで以上に家族と施設の連携を深めるよう努めた。定期的な利用に繋げるための関係づくりに努めた。

昨今の介護職員不足の影響もあり必要最低限度の利用に止め、十分に受け入れが出来ない状況があります。稼働率を上げるためには職員の増加が必要となります。

実施状況

	非該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	利用合 計
4月	0	0	0	55	73	85	0	4	217
5月	0	0	0	57	62	85	12	4	220
6月	0	0	0	56	66	72	3	4	201
7月	0	0	0	35	81	73	0	5	194
8月	0	3	0	8	77	47	0	0	135
9月	0	0	0	17	84	34	0	4	139
10月	0	0	0	7	100	23	0	4	134
11月	0	0	0	16	49	21	30	3	119
12月	0	0	0	12	59	23	37	3	134
1月	0	0	0	6	49	9	15	0	79
2月	0	0	2	9	46	20	28	4	109
3月	0	0	0	15	51	21	21	2	110
小計	0	3	2	293	797	513	146	37	1791

送迎回数 (比較:令和5年度 計493回 1ヶ月の平均送迎回数 41.1回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
42	38	40	33	17	32
10月	11月	12月	1月	2月	3月
27	29	35	19	28	28

合計 368回 1ヶ月の平均送迎回数 31回

令和6年度

専門委員会
クラブ活動

実施報告書

- | | |
|-------------|-----------|
| ・ 入浴専門委員会 | ・ 手芸クラブ |
| ・ 食事専門委員会 | ・ 音楽クラブ |
| ・ 排泄専門委員会 | ・ 書写クラブ |
| ・ 移動移乗専門委員会 | ・ カラオケクラブ |
| ・ 環境整備専門委員会 | ・ 喫茶クラブ |
| | ・ リハビリ係 |
| | ・ 防災担当 |
| | ・ 広報編集担当 |
| | ・ 聞法会担当 |

亀保の里

令和 6 年度 専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護職員	介護総括	介護総括	記入者
入浴専門委員会								

担当者名

近藤拓也 尾形正和 アントレス・ローズマリー 牧野美佐子
 北山照美 仲千秋 なつみげん 太田ひとみ

活動状況

- ・週4回、入浴実施（月、火、木、金）行事やケガの兼ね合いや感染症蔓延防止のため、日程を変更することもあった。
- ・入浴分組にあたり職員の手分けを入浴委員が交代で作成。
- ・入浴時の事故防止など声をかけ合い、注意しながら行うようになった。
- ・令和6年度の入浴ごのヒヤリハットは5件。
- ・入浴開始前にNSと相談し、体調不良等の理由による入浴中止者を確認する。中止者は清拭・更衣を実施。
- ・入浴中の利用者の見守り、観察、声かけとして体調の確認を行い、入浴時間にも気を付けながら安心、安全に入浴してもらった。
- ・利用者の状態に応じて入浴方法をその都度検討、変更すること、適切な入浴かできよう始めた。
- ・令和6年、5/29に、ストに新しい特殊浴槽外を導入した。
- ・その他にも問題点があれば、その都度入浴委員や主任等で話し合い、検討した。

令和 6 年度 専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護職員	介護総括	介護総括	記入者
食事専門委員会								

担当者名

尾家みゆき 瀧砂智子 田箆律子 松本真弓
 二宮サトミ 羽野美紀 友枝悦子

活動状況

- ・月一回の給食会議を行い、各部署の意見や利用者や利用者の状況、状態を（食事があまり摂れられない利用者等について）話し合い、看護師、栄養士や給食会社と連携し利用者一人一人が喜んで食事をしていただける様努めた。（補助食品の検討等）（季節ごとの食材を使っての料理の提供等）アジアクーリングサービス（給食会社）
- ・利用者の体調、口腔内や義歯の調子に合わせ、状況に応じた食事形態に変更し提供した。
- ・体調に応じて食事摂取、水分補給を促るとともに嚥下困難な利用者に対して、一人一人に合った適量のトロミ剤を使用し安全に摂取できるように努めた。
- ・歯科衛生士による指導連携を図る事で口腔内の清潔保持に努めそのために必要な物品の準備、検討を利用者一人一人の状態に合わせて行った。
- ・糖尿病の方や塩分の制限等が必要な利用者に対しては看護師や栄養士と連携を図り、状態の変化、悪化の予防に努めた。

委員会名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護職員	介護総括	介護総括	記入者
排泄専門委員会								

担当者名

生田義文 真浄友輝 黒岩美栄子 佐々木みどり
田中さゆり 板敷留美 久保恵子

活動状況

- 1 勉強会の開催

 - 令和6年12月6日、ユニチャーム勉強会開催。使用状態から見える排泄状況と今後につながらる排泄ケアの検討を行った。
 - 新商品のパッド（1500cc）を試験的に各部署、入所者3名に使用した。その結果、どのような変わったかアンケートを取った。
 - 12月19日現状の排泄介助を確認したいということでユニチャームの関口さんがケアワーカーと一緒にオムツ交換を実施し、アドバイスをしてもらった。
 - 令和7年3月7日ユニチャームに各部署のオムツ回数、時間帯、パッドの種類を報告。パッドの選定基準、夜中のオムツ交換について指摘を受け、各部署話し合い改めて見直しをした。
- 2 入所者個人の排泄パターンを把握し、入所者にあった介助が行われているか、随時検討、改善した。

 - 失禁が多い入所者に対してはその人にあった、パッド、オムツ回数を検討し、少しでも不快感がなくなるように検討した。
- 3 オムツ着用者がオムツを外すかについては、その入所者のADL、怪我のリスク等、踏まえ外せるか慎重に検討した。
- 4 排泄状態、排泄物を観察し、医療と連携を図り、排泄障害への適切な対応へ繋がった。

 - 特にサラサラパッド使用した際、陰部がかぶれた入所者が目立ち、サラサラパッドを使用せず、性能と良いパッドを使用し改善傾向にあった。
- 5 オムツ交換、排泄介助後の換気の徹底、清潔と不潔の区別の徹底を行う。

 - オムツ交換の際、着用した手袋は一人ひとり交換、または消毒し、尿路感染防止に繋げるよう努めた。

令和 6 年度

専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護職員	介護総括	記入者
移動移乗専門委員会							

担当者名

宮川裕美 宇野賢治 古川陽大 志賀富久美

沖山俊 川本里美 高田恭士 川本みどり

活動状況

令和6年11月6日に移動、移乗についての介護技術
 実践研修会を実施し
 主に新人取組を対象にしていましたが、今回は、介護職員に
 了したとより、介助が難しい入所者に対しての介助方法も、
 基本的動作の復習、命即支援物品の使用の移動・移乗
 方法等について行われました。

- 身体拘束等適正化委員として施設内研修会に
 参加し、
 ・各部署で、現段階で拘束の実行している人は解任の
 意向、と打ち合わせし、中心チームのメンバーに
 行われ、
 ○移動、物品も、ベッドの整備、点検も作業、
 ・車いす自体も古くなってしまっているが、修理して使うと
 介保費も減る、又、入所者個人の希望も、自由に
 合わせて、移動物品の具直しも行う、
 ・センターは、ベッドの活用について再検討し、必要引入所者
 視察も行う。

令和 6 年度

専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護職員	介護総括	介護総括	記入者
環境整備専門委員会								

担当者名

古見貴子 井上翔平 ゆきこナネット 木村淑美
田村富士美 松崎優子 岸本ひとみ

活動状況

- 。施設内の設備、(ベッド、車いす、トイレ等)異常があれば事務所に報告した。
- 。エアコンや換気口のフィルター清掃も定期的に行った。
- 。ベランダ、窓ガラスの清掃を行った。
- 。掲示版や壁面に季節の飾りや絵を貼った。
- 。感染症予防のため、手すり、ドアのふいごを毎日消毒した。
- 。物品庫の整理を行った。

令和 6 年度

クラブ活動実施報告書

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護職員	介護総括	介護総括	記入者
手芸クラブ								

担当者名

瀧砂智子 古見貴子 黒岩美栄子 仲千秋
ゆきこネット 二宮サトミ 岸本ひとみ

活動状況

- 4/20 こいのぼり飾り (15名)
こいのぼりの形に切った画用紙に丸や細長く切った折り紙を貼る。
- 5/29 梅雨のつるし飾り (18名)
かたつむり・てるてる坊主の形に切った画用紙に折り紙のパーツを貼ったり貼り絵をする。
- 6/22 セタ飾り作り (12名)
短冊に願い事を書く・笹の葉用の飾りを作る。
- 7/3 セタの笹の飾りつけ (34名)
各部署で笹2本に飾りを付ける。
- 8/31 秋のぬり絵 (19名)
9月のカレンダーと紅葉・イチョウなどのぬり絵をする。
- 9/7 コスモスの花作り (22名)
折り紙で花を作り、画用紙に茎と葉を描き込んだ物に貼る。
- 11/30 クリスマス飾り (25名)
画用紙で三角柱のブロックを作り、切った折り紙やシールを貼る。
- 1/29 鬼の面作り (15名)
牛乳パックにちぎった折り紙を貼り、折り紙の顔のパーツを貼る。
- 2/26 ひな祭り飾り (11名)
折り紙や画用紙を切ってパーツを作りお雛様とお内裏様の飾りを作る。
- 3/26 春のぬり絵 (15名)
4月のカレンダーと桜やメジロのぬり絵をする。

令和 6 年度

クラブ活動実施報告書

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護職員	介護総括	介護総括	記入者
音楽クラブ	田	監	長	寛	牧	上	宮	田

担当者名

真浄友輝 宮川裕美 板敷留美 久保恵子
 田籠律子 北山照美 ゆきこナネット 宮崎茉理

活動状況

4月13日 → 参加人数 40名
 5月8日 → 参加人数 35名
 6月15日 → 参加人数 43名
 8月14日 → 参加人数 26名
 10月5日 → 参加人数 46名
 11月13日 → 参加人数 44名
 1月8日 → 参加人数 42名
 3月19日 → 参加人数 44名

- ① 鬼保の星の歌
- ② 季節の歌や昔の歌 4曲～5曲
- ③ 楽器演奏 (スズ、タンバリン)
- ④ 手あそび
- ⑤ バチを持ち踊り

- ・上記のプログラムを行ない、季節の歌や昔の歌を歌う時は皆さん良く声が出て歌っている。
- ・楽器演奏やバチ踊りは前に立っている職員を見ながら行ない、かけ声を出し「おこりこり」笑顔も見られた。

令和 6 年度

クラブ活動実施報告書

クラブ名 書写クラブ	施設長	指導員	事務長	相談員	看護職員	介護総括	介護総括	記入者
								

担当者名

北山照美 川本里美 古川陽大 前田かほる
羽野美紀 濱砂智子 尾形正和

活動状況

利用者のレベルにあった課題を提供し、無理なく楽しめるよう活動力を行いました。季節に応じた作品に取り組み、四季の変化を感じられるよう提供しています。作成した作品は施設内の掲示板に見立て、施設内の文化祭に展示し、他利用者に見て頂く。書道展にも出品しています。感染対策もあり、みっけ別々で活動したり、中止した月もあったため、利用者が楽しく参加できなかったよう行いました。

令和 6 年度

クラブ活動実施報告書

クラブ名 カラオケクラブ	施設長	指導員	事務長	相談員	看護職員	介護総括	介護総括	記入者
								

担当者名

古川陽大 松崎優子 太農達也 松本真弓
なつみめぐイアンドレスロースマリー 宇野賢治 末次恵子

活動状況

- ・カラオケ孝久室
毎月1回、午前10時～午前11時、末次先生の指導のもと実施。
・4～5曲の言葉題曲を糸染り返し系練習する。
(曲目) 城井慕小青、夕映えの郷、昭和かたぎ、
昭和ころ、ふらふら、e.t.c
- ・2～3曲の利用者のワクエスト曲や、その希節の歌欠を歌う。
(曲目) ひなまつり、もみじ、旅牙鳥、ワゴの唄、川の流氷のよりにe.t.c.
・多くの人が参加でき、大きな声もで、歌えない人も、手拍子をするなど
楽しめていた。

カラオケクラブ

- ・七夕カラオケ大会(7月)の実施。
各部署より、多数名ずつ選出し、歌欠を披露してもらった。
審査にて賞がもたらえる。
・仮装したり、応援団が出たりと、多くの方が楽しめていた。
- ・言延生日会(担当期)に実施。
その月の言延生日者をハッピーバースデートウユエーの歌欠をみんなで、
歌いは「祝いしい言延生日者で詞欠える人がいれば、好きな曲を一曲
歌欠ってもらった。
・言延生日者で、歌欠える人がいなくなったり、取っかしくて、歌欠っても
らえない事も、ありましたが、夕勢にお祝いさね、とてもうれし
そうでした。

令和 6 年度 クラブル活動実施報告書

クラブル名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護職員	介護総括	介護総括	記入者
喫茶クラブル								

担当者名

二宮サトミ 田村富士美 なつみマデイ アンドリス・ローズマリー 木村淑美
 梶原舞子 板敷留美 田籠律子 ゆきこナネット

活動状況

月2回、土曜日の午後より喫茶を行う。

13:30 ~ 15:30

(メニュー) メインのお菓子または、プリン、ヨーグルト

飲み物

コーヒー、紅茶、こぶ茶、ジューズの中から選んでもらう。

メインは季節感のある物。

糖尿病の予には、低糖ヤニカロリー シュガーの用意。

嚥下機能の低下者には、ゼリー類、トロミ剤を使用。

コロナウイルス感染後より、各階時間をずらし実施。

机の配置も間隔をあける等 密に注意し実施。

・年間行事

・新春喫茶

・春の茶会 等 話し合いをしし内容を決める。

クラブ活動実施報告書

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護職員	介護総括	介護総括	記入者
リハビリ係								

担当者名

沖山俊 川本里美 井上翔平 上田京子 太農達也

田中さゆり 高田恭士 羽野美紀 志賀富久美 川本みどり

活動状況

♪音楽リハビリ（月一回）10:15～11:00 戸祭先生
 ・先生の指導のもと音楽を聴きながら、先生を手本に職員が利用者を介助しながら、身体を動かしたり、可動域訓練を行います。（鳴子・鈴・ボール・タオル等を使用）
 ・入所者の介護度も上り一人で動ける人も減っている。内容を先生と相談しゆつくりな動きに変更、休憩を行いつつながら観察しながら実施している。

・コロナ感染対策の為に中止することもありますが、状況をみながら実施、皆さん楽しみにしています。

関節可動域訓練（月4回）柔道整復師 太農氏

・少し動ける人対象・・・歩行訓練・起立訓練・立位訓練等（現在 10 名）

動きの改善、筋力の改善、維持につながっていると思われます。

個別リハビリ（月2回）14:00～16:30 柔道整復師 太農氏

・寝たきりの人を対象にマッサージをしながら可動域を広げる。（現在 10 名）

実施中は発語が聞かれなくなり、表情に変化が見られております。

ラジオ体操（毎週水曜日・日曜日）14:30～14:45

・ラジオ体操は関節可動域訓練を兼ねており機能維持に繋がっております。

・各部署リハビリ係の担当職員及びその日、出勤職員に対応してもらいます。

・始まり、終了の放送は入所者に協力してもらい、良い発声練習にも繋がっているの、今後も続けていきたいと思っております。

・来賓・家族参加型レクレーション（4月29日・9月14日）

創立記念祭 敬老祝賀会 感染予防の為、来賓の参加やゲーム等のレクレーションは無。

・黒土小学校との合同運動会（中止）亀輪ピック（11月16日）

感染対策の為に中止となり、施設内での亀輪ピックを行う。

職員で考えたゲームを入所の方と職員でみんな笑顔ながら体を使って楽しみました。思わず力が入り普段使わない筋肉を使ったと思います。大きな声や笑顔が見られました。

・カルタ・福笑い（令和7年1月1日）

各部署で担当職員が行いました。入所さんも楽しんで笑顔が見られました。

・節分豆まき大会（令和7年2月8日）

感染予防と寒気の為豆まきは職員と入所者の人数制限をして豆まきをする。ゲームや風船わりに必死となり、ジェスチャーゲームも楽しく行いました。

クラブ活動実施報告書

令和 6 年度

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護総括	看護総括	介護総括	記入者
防災担当								

担当者名

真鍋宏一郎 真浄友輝 井上翔平 塚本豊 佐々木みどり
 宇野賢治 近藤拓也 森重広子 牧野美佐子

活動状況

○総括
 新型コロナウイルス感染症の5類への変更後、1年以上が経過し施設内外の行動制限が徐々に緩和されてきたが、引き続き新型コロナウイルス等感染症の予防に努めながらの防災活動となった。6月・7月・8月・12月・令和7年1月は施設内での新型コロナウイルス発生等により訓練中止を余儀なくされたが、特に夜間を想定した避難訓練を中心に防災訓練・防災研修を行うことができた。

令和6年度は前年度と同様に、非常時にスタッフ個々が状況や自分の役割を的確に判断できるようにすること、およびスタッフ間の連携がスムーズにはかれるようになることによる訓練目標とした。

特に各フロアでの火災を想定した訓練を重点的に行い、実施した訓練の反省点を次回以降の訓練計画に反映させることを意識したことで段階的にスタッフの認識・理解が高まり、訓練の質を向上させることができてきていると思われる。また、実際の勤務状況(夜勤状況)等を加味した上での訓練を行うことで、介護職員主導で訓練の内容および実施方法を決定・担当することができ防災意識の向上を感じた。

令和7年度は同目標のもと計画的に防災訓練を実施していくとともに、京葉消防本部立ち合いによる防災訓練の実施を行う。

実施内容

4月21日 夜間2階での火災発生を想定した初期消火・避難誘導訓練
 5月12日 火災報知器作動時の対応についての指導・訓練
 6月～8月 入所者・職員にコロナ感染あり中止
 9月22日 夜間2階での火災発生を想定した初期消火・避難誘導訓練
 10月20日 台風・水害時による停電を想定した発電機の使用訓練
 11月24日 夜間3階での火災発生を想定した初期消火・避難誘導訓練
 12月 入所者・職員に体調不良者多数あり実施せず
 1月 入所者・職員にコロナ感染あり中止
 2月22日 夜間3階での火災発生を想定した初期消火・避難誘導訓練
 3月30日 火災・地震発生時を想定した避難行動手順の確認

2月13日

昨年同様、九州保安協会の指導の下、排気ダクトの稼働状況の確認を実施した。非常時に適切に使用できるよう稼働ボタンの位置確認やボタンを押しした後の稼働状況、稼働後の停止までの一連の流れを体験した。また、屋内散水栓の放水体験も実施し、ホースを使用した際に感じる実際の水圧等を体験した。今後も排煙装置等の防災設備を定期的に稼働させ、火災発生時には全ての職員が適切に行動できるよう研修を重ねていく。

今後も定期的な訓練・研修や防災担当会議等を通じて、施設の防災対策を徹底していくとともに、スタッフの防災意識向上に一層努めていきたいと思う。

令和 6 年度

クラブ活動実施報告書

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護職員	介護総括	介護総括	記入者
広報編集担当								

担当者名

宮崎勇人 矢鳴淳成 田村富士美 古見淳 牧野美佐子 前田武雄
 上村千春 尾家みゆき 高田恭士 宮崎昌宗 宇都宮生雄

活動状況

あかり号148号(令和6年6月20日発行)600部
 1. 季節のページ(黒工秋園) 雑感
 2. 季節のページ(お誕生日、ふるさと訪問、日常)
 3. 行事報告(28-5月) 特殊浴槽購入、新入所者、新人スタッフ紹介
 4. ナイスページ(お祝い) 御礼コーナー、編集後記

あかり号149号(令和6年10月15日発行)600部

1. 季節のページ(芝草広場にて)、雑感
2. 家族投稿(麻野善一郎さんご家族) 敬老祝賀会
3. ナイスページ(お)
4. 健康教室(タケ松軒医院院長 平良祥博) 行事報告(6月~9月)
5. 季節のページ(食欲の秋)、御礼コーナー、編集後記

あかり号150号(令和7年2月10日発行)600部

1. 季節のページ(新春誕生日会) 雑感
2. 季節のページ(お正月遊び) 行事報告(10月~1月)
4. ナイスページ(お)、御礼コーナー、編集後記

上記3号を発行、149号のナイスページコーナーも2ページにし6ページ構成にした。
 昨149号からは入所者の紹介コーナーも中止。
 編集活動においては1ヶ月前に編集会議を行い各ページ担当を決めてマンネリ化
 しないよう配慮したが文章や写真など同じような内容になっている所も多かったため今回は
 新しいコーナーについても検討してみた。タブレットの導入で季節感のある写真も入所者の障
 害のない写真なども以前に比べて撮影しやすくなった。

今だに面会も十分できないご家族の為にあかり号の発送及びホームページにおいても
 随時更新するようになっている。面会も通して施設も入所者の様子を見ていただき閉鎖的に
 ならないようご家族と入所者とのつながりを維持できるようにしたい

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護総括	看護職員	介護総括	介護総括	記入者
聞法会担当									

担当者名

尾家慶彦 野畑真由美 仲千秋 矢嶋淳成
尾形正和 松崎優子 太田ひとみ

活動状況

令和6年度は計画通り4回の聞法会を実施しました。

- 令和5年4月25日(木曜日)
正円寺住職 福田様
法話内容 浄土真宗の教え、お経について
参加者 特養50名 デイ1名 職員11名
- 令和5年6月27日(木曜日)
選仏寺代務住職 中島様
法話内容 お寺で演奏される舞楽・雅楽について
参加者 特養50名 デイ2名 職員12名
- 令和5年10月24日(木曜日)
光林寺住職 大神様
法話内容 生老病死と縁起について
参加者 特養50名 デイ1名 職員10名
- 令和6年2月27日(木曜日)
浄福寺坊守 長谷山様 (妙泉寺の予定でしたが変更)
法話内容 南無阿弥陀仏という言葉について
参加者 特養44名 デイ0名 職員9名

利用者・職員にお経本を配り、ご住職と一緒に読経しました。それぞれページをめくりつつ、発声し身体の活性化につながりました。また馴染みの住職の話を身近に聴聞することができて喜ばれていました。

令和6年度

デイサービスセンター 亀保の里

事業報告書

I 事業活動報告

II 利用実績

1. 介護度別利用実績
2. 月別延べ利用者数の状況
 - (1) 総合事業
 - (2) 介護保険利用者
 - (3) 総合計
3. 介護保険利用者の食事・入浴・送迎回数
4. デイサービス利用者年度別推移
5. 介護度別利用登録者数の月別推移

III 行事実績

以上

I 事業報告

年間利用実績

令和6年度は、引き続き新型コロナウイルス等感染症予防に留意しながらサービスの提供を行いました。令和6年度も利用者の減少傾向が継続するため、特に利用者数の減少が顕著であった土曜日について令和6年7月20日より利用者の受け入れを一時的に休止致しました。これにより総合事業での利用者数は大きな減少はありませんでしたが、要介護の利用者数は入院・施設入所による利用者減とあわせて大きく減少、利用実績全体で-17%となり前年度を下回る実績となりました。今後も要支援・要介護にかかわらず広く利用希望者に対して積極的な受け入れを行い利用実績確保に努めます。現在休止状態の土曜日につきましては、一定数以上の利用者数を確保できれば再開を予定していますが、現状では利用者数の確保は難しく休止の継続またはデイ営業日自体の変更を余儀なくされる可能性もあり、今後の状況にあわせて対応を検討します。感染予防については新型コロナウイルスだけでなくノロウイルス等食中毒など他の感染症にも留意し、利用者本人だけでなく同居家族の状態にも注意を促しながら今後も感染予防を徹底したサービス提供に努めます。

通所型サービス（事業対象者・要支援対象）については、介護保険非該当に属する高齢者が潜在的に多く、一定数の利用を確保していると考えます。「通所型サービス（緩和）」については、対象者に提供されるサービスが限られることにより、サービスを希望する利用者がいないことから、豊前市・吉富町・上毛町からの利用依頼はありません。総合事業によるデイ利用回数については、従来よりデイ利用を継続して利用していただいている方については週2回まで、新規の方については、要支援1は週1回、要支援2は週2回までの利用を基本とし、本人・家族の要望やサービスの必要性、また施設行事等への参加希望があった際に、例外的に追加利用を認めている現在の利用方法を維持し、より利用者の生活スタイルにあったサービスが提供できるよう対応しています。総合事業による利用者が、今後も継続して利用できるように努めるとともに、状態に変化が見られた際には、適した介護区分に移行できるよう家族・ケアマネジャーと連携し対応します。

令和6年度は要介護者5名、総合事業利用者6名の計11名を新規利用者として契約。長期入院者5名、特養に入所及び短期入所のみ利用に変更した方が2名、他の事業所への利用変更・自宅療養者

2名。亡くなった方が3名。令和7年5月現在、継続利用者数は総合事業（通所型）が19名（要支援1・要支援1相当が15名、要支援2が4名）、要介護者11名。

Ⅱ 利用実績

1. 令和6年度介護度別利用実績

月	総合支援1	総合支援2	総合合計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護合計	総合計
4月	107	34	141	65	33	16	8	0	122	263
5月	116	32	148	70	18	23	21	0	132	280
6月	103	26	129	70	12	20	3	0	105	234
7月	108	31	139	59	27	20	0	0	106	245
8月	85	28	113	72	23	17	0	0	112	225
9月	86	34	120	57	26	9	7	0	99	219
10月	97	47	144	99	32	14	8	0	153	297
11月	94	46	140	100	30	12	8	0	150	290
12月	102	43	145	93	29	13	8	0	143	288
令和7年1月	84	32	116	85	18	15	7	0	125	241
2月	83	34	117	75	18	11	7	0	111	228
3月	88	38	126	86	18	13	9	0	126	252
合計	1153	425	1578	931	284	183	86	0	1484	3062
割合(%)	37.66%	13.88%	51.53%	30.40%	9.27%	5.98%	2.81%	0.00%	48.47%	100.00%

※総合支援1は要支援1と要支援1相当(事業対象者:非該当)を含む

2. 月別延べ利用者数の状況

月	延べ人数	開館日	1日平均
4月	141	25	5.6
5月	148	27	5.5
6月	129	25	5.2
7月	139	25	5.6
8月	113	20	5.7
9月	120	21	5.7
10月	144	23	6.3
11月	140	21	6.7
12月	145	21	6.9
令和7年1月	116	20	5.8
2月	117	20	5.9
3月	126	22	5.7
合計	1578	270	5.8

(1) 総合事業利用者

月	延べ人数	開館日	1日平均
4月	122	25	4.9
5月	132	27	4.9
6月	105	25	4.2
7月	106	25	4.2
8月	112	20	5.6
9月	99	21	4.7
10月	153	23	6.7
11月	150	21	7.1
12月	143	21	6.8
令和7年1月	125	20	6.3
2月	111	20	5.6
3月	126	22	5.7
合計	1484	270	5.5

(2) 介護保険利用者(要介護1以上)

月	延べ人数	開館日	1日平均
4月	263	25	10.5
5月	280	27	10.4
6月	234	25	9.4
7月	245	25	9.8
8月	225	20	11.3
9月	219	21	10.4
10月	297	23	12.9
11月	290	21	13.8
12月	288	21	13.7
令和7年1月	241	20	12.1
2月	228	20	11.4
3月	252	22	11.5
合計	3062	270	11.3

(3) 総合計

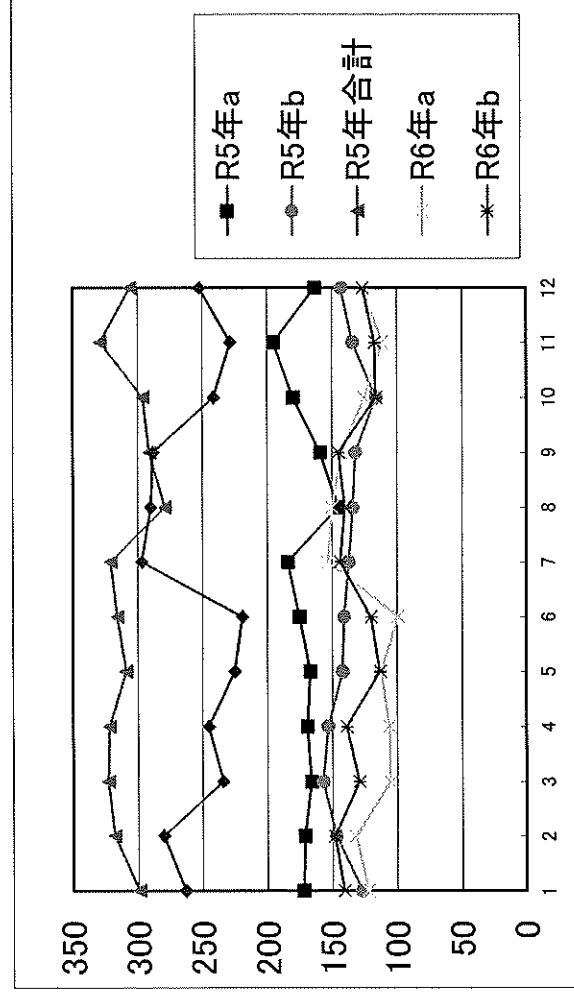
3. 介護保険(要介護1以上)利用者の食事・入浴・送迎回数

月	延べ人数	送迎			入浴		
		迎え	送り	一般	食事		
4月	122	122	121	106	122		
5月	132	132	130	117	132		
6月	105	105	98	94	105		
7月	106	106	103	95	106		
8月	112	112	111	103	112		
9月	99	99	96	91	99		
10月	153	153	151	140	153		
11月	150	150	146	130	150		
12月	143	143	138	124	143		
令和7年1月	125	125	124	110	125		
2月	111	111	109	99	111		
3月	126	125	125	108	126		
合計	1484	1483	1452	1317	1484		
割合(%)	-	99.9%	97.8%	88.7%	100.0%		

4. デイサービス利用回数の月別推移および前年度との比較

月	R5年a	R5年b	R5年合計	R6年a	R6年b	R6年合計
4	172	127	299	122	141	263
5	171	147	318	132	148	280
6	166	157	323	105	129	234
7	169	153	322	106	139	245
8	167	142	309	112	113	225
9	175	141	316	99	120	219
10	184	137	321	153	144	297
11	145	134	279	150	140	290
12	159	132	291	143	145	288
令和7年1月	180	116	296	125	116	241
2	195	134	329	111	117	228
3	163	143	306	126	126	252
合計	2046	1663	3709	1484	1578	3062

※ a:要介護1以上 b:総合(要支援1・2)



5. デイサービス介護度別利用登録者数の月別推移(実績のある方のみ)

月	総合支1	総合支2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	19	4	6	3	2	1	0
5月	19	4	6	2	2	2	0
6月	18	3	6	1	2	1	0
7月	18	3	6	2	3	0	0
8月	17	3	6	2	2	0	0
9月	15	4	7	2	1	1	0
10月	15	5	8	2	2	1	0
11月	15	5	9	2	1	1	0
12月	17	5	9	3	1	1	0
令和7年1月	16	4	8	2	2	1	0
2月	16	4	7	2	1	1	0
3月	14	4	7	2	1	1	0

Ⅲ 令和6年度行事実績

月	行事	実施状況	参加数	月	行事	実施状況	参加数
4/4～ 4/6	桜見バスハイク	大貞公園、吉富「道の駅」	26名	9/9～11	ショッピング	ゆめマート	20名
4/15 ～ 4/17	誕生会	ホールにて	28名	9/16～ 9/18	誕生会	ホールにて	24名
				10/14～ 10/16	ショッピング	ゆめマート	19名
				10/17 ～ 10/18	バスハイク	三光コスモス見学	21名
				10/21～ 10/23	誕生会	ホールにて	23名
5/22 ～ 5/22	誕生会	ホールにて	25名	11/11 ～ 11/13	ショッピング	ゆめマート	18名
				11/20 ～ 11/23	誕生会	ホールにて	22名
6/10～ 6/12	ショッピング	ゆめマート	22名	12/5 ～ 12/6	バスハイク	耶馬溪	19名
6/13 ～ 6/15	バスハイク	枝河内紫陽花ランド	24名	12/9 ～ 12/11	ショッピング	ゆめマート	17名
6/17～19	誕生会	ホールにて	26名	12/16 ～ 12/18	誕生会	ホールにて	22名
7/6	セタカラオケ大会	特養棟にて	6名	令和7年			
7/8～ 7/10	ショッピング	ゆめマート	21名	1/9 ～ 1/10	バスハイク	初詣	17名
7/15 ～ 7/17	誕生会	ホールにて	26名	1/13 ～ 1/15	ショッピング	ゆめマート	18名
8/5 ～ 8/7	ショッピング	ゆめマート	18名	1/20 ～ 1/23	誕生会	ホールにて	21名
8/19 ～ 8/21	誕生会	ホールにて	23名	令和7年			

月	行事	実施状況	参加数	月	行事	実施状況	参加数
2/10 ～ 2/12	ショッピング	ゆめマート	17名	3/7	バスハイク	求菩提資料館	11名
2/17 ～ 2/19	誕生会	ホールにて	22名	3/10 ～ 3/12	ショッピング	ゆめマート	18名
2/27 ～ 2/28	バスハイク	浜宮梅見見学	21名	3/17 ～ 3/19	誕生会	ホールにて	23名

令和7年6月

はじめに

当居宅介護支援事業所は、要支援・要介護者・その家族の方の意向を基に地域での「自立した生活支援のため、保険・医療等関連分野との連携を行いながら、介護計画の作成及び介護サービスの利用調整や行政サービスの調整を行いました。

居宅介護支援事業について、介護保険の理念に則り、要介護1以上の方に支援を行いました。介護予防の居宅支援事業も、地域包括支援センターからの委託を受け、要支援と認定された高齢者の方の支援を行いました。

利用者状況について

現在(令和7年、3月末)の当事業所において介護の支援を行っている登録者の方は31人で、要支援1・要支援2の認定で、地域包括支援センターから、委託を受けて居宅支援を行っている方は1人です。

サービス利用の実績について

令和6年度の、月毎の居宅支援実績を行った人数を、(表1)に表しました。
令和6年度(表1)は、総数365人の居宅支援サービスをを行い、月平均 30.4人となっています。

表1 令和06年度 居宅支援実績 (月別) (人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	16	16	16	16	16	15	14	15	15	15	16	16	186
要介護2	11	9	8	9	9	9	8	6	7	7	6	5	94
要介護3	4	4	3	3	4	3	4	4	4	5	5	5	48
要介護4	3	4	3	2	2	2	2	3	4	3	3	5	36
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
月計	34	33	30	30	31	29	28	28	31	30	30	31	365

現在の利用者の方の介護度別に表したものが、下記のグラフになります。

利用者個々の状況に応じ、本人意向を尊重して、支援内容や事業所を選定し、必要なサービス提供を行っています。

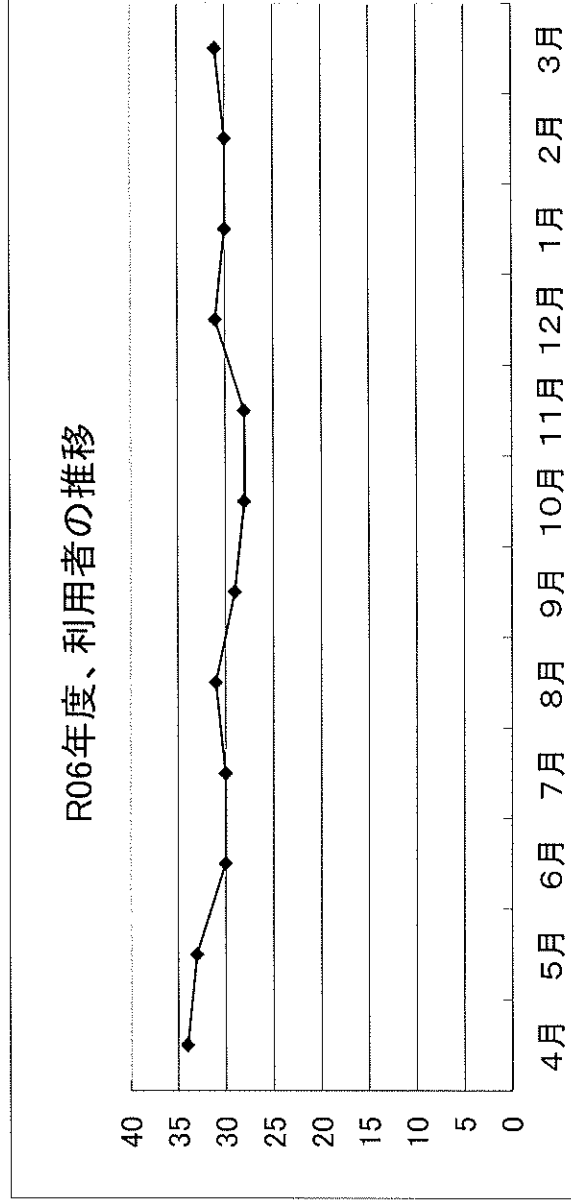
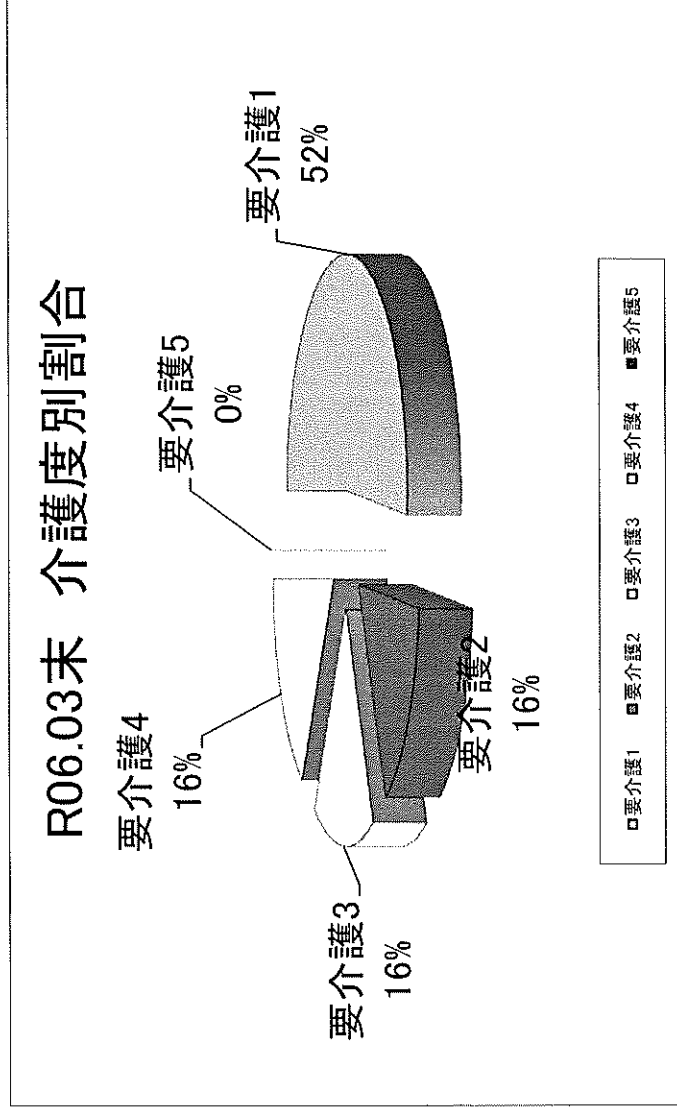


表3は、要支援認定を受けられた方、いわゆる予防の介護を受けられており、当事業所で居宅支援を受けられているかた(プランを立てている方)です。

表2 R06年度 予防支援実績 (月別)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(人)
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援2													0
予防計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

新年度への取り組みについて

居宅介護支援の提供に当たっては、懇切丁寧を旨とし、利用者・家族に対しサービスの提供方法について、理解しやすいように説明を行う。

運営基準減算に該当しないよう、毎月利用者の居宅訪問・モニタリング・担当者会議・評価を確実に責任を持って行う。

専門職としての、業務を的確に行なえるよう内外的な研修会に参加し、資質向上に努める。さらに、人材の育成や教育機能の強化を図り、選ばれる事業所となるよう努める。

利用者の自立した日常生活の支援を効果的に行うために、利用者の心身や家族の状況等に応じて継続的かつ計画的にサービス利用が行う。